

一般質問発言通告書

発言順位 11 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年9月5日

三島市議会議長 堀江和雄様

三島市議会議員 7番 石井真人

質問事項1	新庁舎の整備地選定と今後の方針について
具体的内容	新庁舎の整備地について、南二日町広場としての三島市の方針が示された。しかし、南二日町広場については、懸念される課題があり、以下に伺う。
	1 立地適正化計画に伴うコンパクトシティに反し、拠点を拡散させる政策をとる理由。国道1号線からのアクセスで公安協議が難航する可能性やバス路線見直し、周辺道路の環境整備など、今後更なる追加コストが見込まれる中で工事期間延長や建設費増への考え方。
	2 市内で氾濫を繰り返す大場川沿いの災害リスクのある地域にあえて新庁舎を建てる理由。今後、さらに洪水ハザードマップの深さなどの見直しがあった場合への対応、震度6強(350gal以上~600gal未満)に対しての液状化の専門家委員会の開催の有無。
	3 市民説明会を早期に開催すべきだが、開催時期、市民に対する説明責任の果たし方。意見を伺う姿勢はあるのか。
質問事項2	ふるさと納税の本市の戦略について
具体的内容	静岡県令和5年度のふるさと納税の寄附金受入金額が前年度比39%増の455億円となった。県内の焼津市や富士宮市、富士市、沼津市などが順調に受け入れ額を伸ばす中で、本市の寄附額は、3億3706万円、件数は10,266件となっており、対前年比の増加率は約30%となっているが、県内他市に比べ、そこまでの伸び率になっていない。そこで、本市のふるさと納税に関する戦略を以下に伺う。
	1 寄附金受入額が伸びている自治体と本市の差の原因をどのように分析しているか。
	2 今年度のふるさと納税「頼朝公旗挙げ行列体験ツアー」の実績結果に関する考察や、企業版ふるさと納税の活用状況
	3 寄附額増のために、寄附者との関係づくりを強化し(寄附金使途の公開、寄附後のコミュニケーション等)、リピート客増の取り組みをしてはどうか。委託事業者、返礼品提供事業者、他部署との連携(観光や移住定住につなげる工夫)
質問事項3	坂小学校(小規模特認校)の複式学級への回避策について
具体的内容	坂小学校の全児童数は現在63名であり、4年生と5年生は、7名ずつ在籍している。このままでは、来年度のタイミングにおいて5年生と6年生の児童の総数が、15名以下となり複式学級となる可能性がある。そこで、以下に伺う。
	1 複式学級を回避した他市の事例、回避の方法。具体的にどのようなデメリットがあるか。複式学級となることで、さらに、坂地区の縮小化に拍車をかけないか。
	2 市費で採用した場合の教員の追加費用(人件費等)と予算確保の考え方は。また、学級編成が最終的に決まる時期はいつか。
	3 市民窓口や移住定住部署などに来庁する転入者に対し、坂小学校を積極的にPRできないか。
	4 コンパクトシティに伴う坂地域の考え方、南二日町広場に新たに費用をかけて拠点を整備することと、既存地域が縮小していくこととの整合性。